

運営状況について

資料 1

1 患者数

(1) 入 院

単位：人

区 分		令 和 2 年度	令 和 3 年度	令 和 4 年度	令 和 5 年度	令 和 6 年度	令和 7 年度	前年度比
リハ病棟 (41床)	延べ患者数	11,840	9,559	10,470	10,400	11,559	10,983	95.0%
	1日当たり	32.4	26.2	28.7	28.4	31.7	30.1	
	病床稼働率	79.1%	63.9%	70.0%	69.3%	77.2%	73.4%	
一般病棟 (47床)	延べ患者数	10,355	9,774	11,048	10,887	11,222	11,537	102.8%
	1日当たり	28.4	26.8	30.3	29.7	30.7	31.6	
	病床稼働率	60.4%	57.0%	64.4%	63.3%	65.4%	67.3%	
合 計 (88床)	延べ患者数	22,195	19,333	21,518	21,287	22,781	22,520	98.9%
	1日当たり	60.8	53.0	59.0	58.2	62.4	61.7	
	病床稼働率	69.1%	60.2%	67.0%	66.1%	70.9%	70.1%	

(2) 外 来

単位：人

区 分		令 和 2 年度	令 和 3 年度	令 和 4 年度	令 和 5 年度	令 和 6 年度	令和 7 年度	前年度比
内 科		17,513	18,180	19,742	20,153	21,140	20,188	95.5%
外 科		405	195	1,308	2,224	2,797	3,017	107.9%
整形外科		8,271	8,314	7,960	7,570	7,261	6,505	89.6%
リハビリテーション科		3,062	2,390	1,777	1,882	1,957	2,158	110.3%
眼 科		1,971	1,797	1,922	1,700	1,443	1,780	123.4%
耳鼻咽喉科		248	235	443	538	761	1,134	149.0%
皮膚科			2,346	2,255	4,845	9,365	9,552	102.0%
精神科			211	305	329	399	576	144.4%
訪 問		1,001	1,287	1,973	1,947	2,259	2,137	94.6%
合 計	延べ患者数	32,471	34,955	37,685	41,188	47,382	47,047	99.3%
	1日当たり	133.6	144.4	155.7	169.5	195.0	194.4	

※ 皮膚科は令和3年4月から、精神科は令和3年5月から再開

2 手術件数

単位：件

区 分		令 和 2 年度	令 和 3 年度	令 和 4 年度	令 和 5 年度	令 和 6 年度	令和 7 年度	対前年度比
外 科		0	0	2	5	8	5	62.5%
整形外科		15	19	16	12	10	3	30.0%
眼 科		160	122	188	146			0.0%
合 計		175	141	206	163	18	8	44.4%

令和7年度 日南市病院事業決算報告書

1 概 況

(1) 総括事項

中部病院では、「地域住民に親しまれ、信頼される病院」を基本理念のもと、公立病院として地域で求められる5つの役割機能（1）救急医療機能（2）回復期リハビリテーション医療機能（3）在宅医療支援機能（4）専門診療機能（5）公衆衛生活動機能を果たしていくこととしております。

令和7年度は、3名の正規職員・内科医師が退職し、1名の内科医師を会計年度任用職員で雇用しておりますが、入院・外来患者数は共に減少しました。

令和8年2月に、県立日南病院と相互の役割を明確化し緊密に連携していくことで、将来にわたり高度で良質な医療を安定的に提供することを目的とした「日南市内の公立病院の医療連携等に係る基本協定書」を締結しております。

経営状況については、入院・外来収益が減り医業収益は減少し、また、人事院勧告に伴う給料等の引き上げ改定により給与費が増加したこと等で医業収支比率は72.6%と悪化しておりますが、医業外収益で一般会計繰入金が増えており、経常収支比率は98.0%に増加しました。

今後とも本院が担うべき役割機能が果たせるように適切な医師やスタッフの確保に努め、医業収益の向上と費用の適正化を図り、安定した病院経営を確立していきます。

① 建設改良費

令和7年度は、耳鼻咽喉科の内視鏡ビデオシステム等の医療機器の更新購入や手術室の空調改修工事を行いました。

② 業務状況

令和7年度の入院患者数は、22,520人で前年度比261人（1.1%）の減、外来患者数は、47,047人で前年度比335人（0.7%）の減となりました。

③ 財政状況

収益的収支の総収益につきましては、1,907,610,923円で前年度比86,739,946円（4.76%）の増となっております。医業収益は前年度比で8,581,751円減少しております。

総費用につきましては、1,947,122,152円で前年度比101,368,122円（5.49%）の増となっております。給与費や、委託料、修繕費等の経費が増加しております。

損益収支につきましては、39,511,229円の純損失を計上しました。

なお、費用のうち現金支出を伴わないものが、減価償却費109,578,390円、資産減耗費13,169,346円の合計122,747,736円、現金預金は、111,771,009円を保有しております。

資本的収支につきましては、収入額227,867,800円に対し、支出額236,887,477円となっており、差し引き9,019,677円の不足額が生じており、当年度分消費税及び地方消費税収支調整額6,748,285円、過年度分損益勘定留保資金2,271,392円で補てんしております。